

Catalyst

- Digital Video & Image Control Solution -

Catalyst

カタリストは映像制御のためのメディアサーバーソフトウェアです。
MacPro を使用して高画質なコンテンツをプレイバックハードディスク上で再生することができ、変形スクリーンへのマッピング、そしてハードウェアでは不可能な角度のキーストーン補正もリアルタイムに簡単に行うことができます。そして SAMSC の機能により、外部映像機器のリモート制御 (RS-232)、LED の DMX512 信号制御などを加えたデジタル映像機器の統合環境構成します。また MAC 本体を Hub にして、照明機器やプロジェクター、LED スクリーン、ライブカメラを、その環境に取り込み、キューという概念でステージを構成しコントロールすることができます。これらの機能を MAC 本体に集約することで新しい演出の可能性を提供します。

Catalyst Version5

Catalyst は Version5 をリリースしました。新しい MacPro (2013) と組み合わせる事により、より高性能に生まれ変わりました。

Version5 新機能

新機能 ExactMap により、Version4 では難しかった複雑なデザインレイアウトを 1 つの Mix だけで作成でき、さらに直感的に操作することが可能になりました。



同時に複数の素材を扱う事が可能です。



キーストーンやトライアングルなど複数のタイプからコンテンツを切り出す事が可能です。



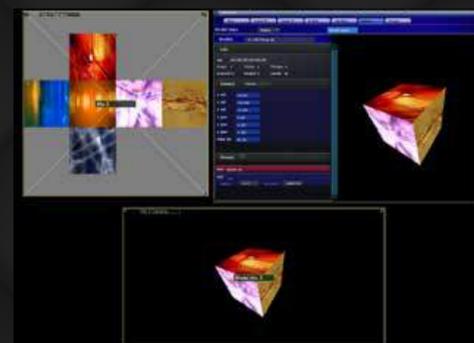
MixMap では補正をかける面数を気にする必要はありません。

Version5 新機能

Version4 では表示が難しかった 3D Model が Version5 表示できるようになりました。



OBJ ファイルが最大20ファイルまで読み込み管理が可能



コンテンツのレイアウトに UV マップが使用可能

新しい MacPro に対応

新しい MacPro (2013) の登場により Catalyst Version5 は従来の 2 スクリーンから、最大 6 面 (Pro のみ) のスクリーンを認識できるようになりました。



※ MacPro (2013) で 2 面以上出力する場合はデュアルリンクアダプターなどのアクティブアダプターを使用する必要があります。

また HDD 上で HD 素材の安定したマルチ再生や 4K 素材の再生も可能になりました。それに伴い Catalyst に取り込むことのできるコンテンツの最大解像度は 11520 x 1200 になりました。(解像度は横幅を減らす事により調整可能です。例: 6000 x 2000、4000 x 3000 など)
※ 再生パフォーマンスは PC のスペックに依存します。



MacPro をベースに、使用する環境に応じて機能拡張することが可能です。



xMac Pro Server では PCIe カードを拡張する事ができます。Active Silicon 社の LFG カードや Phenix カードを使用することで最大 20 入力までカメラ入力に対応します。



Phenix カード: HD-SDI, SDI に対応



LFG カード: コンポジットに対応

DataPath 社の X4 や Matrox 社の TripleHead2go などを使用して画面を拡張し、複数の面数を出力することが可能です。



x4: 4K 画質の映像を表示



TripeleHead 2 go: 最大 4080 x768 の映像を表示



Dualhead 2 go: 最大 3840 x 1200 の映像を表示



用途に合わせて4つの
グレードからお選び頂けます

Catalyst Lite2

- 2 スクリーン
- 2 レイヤー
- 4 ミックスアウト
- 20 カメラ入力

Catalyst Express

- 2 スクリーン
- 4 レイヤー
- 6 ミックスアウト
- 20 カメラ入力

Catalyst DV

- 2 スクリーン
- 8 レイヤー
- 8 ミックスアウト
- 20 カメラ入力

Catalyst Pro

- 6 スクリーン
- 40 レイヤー
- 32 ミックスアウト
- 20 カメラ入力

- 最大解像度は 11520 x 1200 です。
(推奨コーデック：Prores422、Prores proxy,AIC)
- 1920 x 1080px × 10 ソース同時再生
- 20 カメラ入力
- ピクセルマッピング Fixture エリア拡大 (1536x1024pix)
- フレームレンディング・AB コンポジット・プラーなど多彩な FX 機能

※ (解像度は横幅を減らす事により調整可能です。例：6000 x 2000、4000 x 3000 など)
再生パフォーマンスは PC のスペックに依存します。

カタリストは、HDD 上にストックした映像コンテンツ (クイックタイム) やグラフィック (JPEG、TIFF、PNG) をレゾリューションの違いに関係なく自由に組み合わせて再生することができ、出力する際にキーストーンやカーブした面への補正を加えて出力することが可能な映像制御のソフトウェアです。従来は複雑なシステムを構築する必要のある特殊な映像演出のシステムを、1 台の MAC に集約することで安価でシンプルなシステムでのショー運営を可能にします。



機能について



— Keystone —

キーストーン機能で補正することにより、プロジェクターで平面に投影する際に様々な設置環境にも対応することができます。



— Curved Screen —

カーブスクリーン機能で補正することにより、プロジェクターで湾曲面に投影することができます。



— Pinture in —

Catalyst のレイヤー数に応じて、コンテンツを組み合わせて送出することができます。



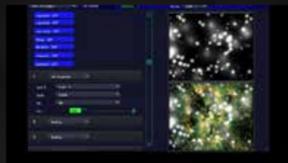
— Multi Screen —

Catalyst の Mix を使用することで、マルチスクリーンを展開することができます。



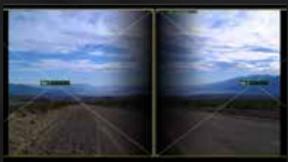
— Mask —

Catalyst 内のマスク (丸・三角など) の他フォトショップなどでアルファチャンネルを利用して、コンテンツにマスクすることができます。



— AB Composite —

2つのコンテンツを合成させ、1つのコンテンツのように使用することができます。



— Blending, Offset —

レンディング機能とオフセット機能で補正することで、プロジェクターを上下左右につなげて大画面を投影することができます。



— Scale XY position, Aspect Ratio —

コンテンツを空間内に自由自在に配置・移動することができます。またアスペクト比やスケールも補正することができます。



— Color Key —

特定の色を透明にし、下層のレイヤーのコンテンツと合成することができます。



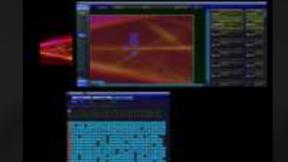
— Tranceparency —

特定の色を別の色に変えることができます。



— Crop Shutter —

4点を動かしマスクを作成することができます。



— Pixel Mad —

コンテンツにフィクスチャーを配置する事により DMX を出力することができます。



www.mileruntech.com

株式会社マイルランテック
東京都品川区西五反田 7-22-17
TOC ビル 11F

TEL : 03-5496-9836